

# 新たな農業支援サービス③ 農業支援サービスの広がり

## 専門作業受注型

## 大信産業（株）

### 【概要】

中山間地でのドローン防除をはじめ、施肥や、生育診断など多様なサービスを提供。中四国地域を中心に活動。



中山間地における自動飛行による  
柑橘ドローン防除

### 【サービス内容】

- 施肥・防除、耕作放棄地等の草刈り、リモートセンシングによる生育診断、病害虫の把握等の受託作業を実施。
- 柑橘については、ドローンの自動飛行ルート作成技術を活用した防除サービスにも取組予定。
- 水稲防除は農薬費込5千円/10aで提供。
- 柑橘防除は農薬費込8千円/10a程度で実施（2022年度から2JAでサービス開始）
- 令和4年度の防除実績（延べ）は、445ha（内かんきつの散布実証5.16ha）



リモコン草刈り機による畦畔管理作業



3D画像上に作成した自動飛行ルート

## データ分析型

## テラスマイル（株）

### 【概要】

デジタルマーケティングを農業経営に応用し、データのスムーズな可視化・予測・試算が可能な経営分析サービスを提供。九州地域から次第に全国に活動の幅を拡大中。



自治体、JAと連携して、産地内の  
営農データの比較分析等を実施

### 【サービス内容】

- 農業者の蓄積したデータを可視化するだけでなく、単収・所得目標に応じた経営指針との比較分析が可能なサービス「RightARM」を提供。新たに、令和4年2月から、農業者のデータを自治体、JAと共有しながら、地域単位で幅広い比較分析を行うことにより、高収益産地形成への貢献が期待できる「RightARM EX」によるサービスを開始。
- 利用料金は、
  - ・農業法人向け：法人あたり36万円~/年
  - ・生産者グループ（5名～）：一戸当たり3万6千円~/年
  - ・自治体・JA向け：80万円~/年（RightARM EXでは110万円~/年）
- 利用者は、生産者グループ、自治体など 20グループ以上



農業者が蓄積する  
様々な形式の経営データ



ICTデータの自動整形と  
多面的な経営分析・予測



分析レポートや成績表を活用  
した新たな営農支援

## データ分析型

## (株)ズコーシャ

### 【概要】

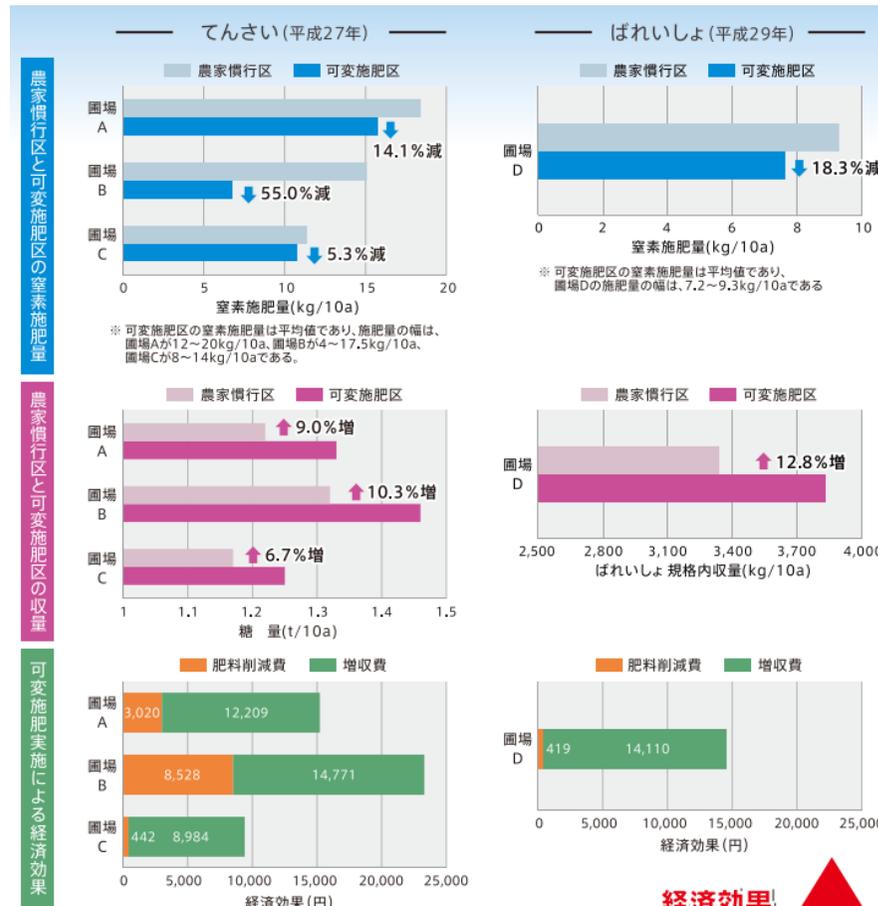
リモートセンシング技術を利用して土壌や農作物を計測し、GISによりコンピュータ解析することで、圃場のばらつきを考慮した窒素可変施肥マップを提供。



ドローンによる撮影作業

### 【サービス内容】

- 畑地土壌をドローンでセンシングし、ほ場の窒素肥沃度を把握することで、可変施肥マップを作製・提供。例えば、現在サービスを提供している北海道十勝・オホーツク地方は窒素肥沃度にむらの大きい火山灰由来の「黒ボク土」が主体であり、4割程度のほ場で窒素の可変施肥が有効。
- 土壌・作物の専門家も有しており、自身のほ場において可変施肥が効果的であるかなどの相談にも対応可能。
- 対応する可変施肥機を使用することで、マップと連動した可変施肥が可能。また、当該マップは1度作成すれば、数年は活用が可能。
- サービス価格について  
リモートセンシング及び肥沃度マップの作製は1500円/10a（初年度のみ実施）。加えて、可変施肥マップを作製する場合は500円/10a（作物ごと）。
- 提供実績：可変施肥マップの作成については、年間100ha程度



※ これらの成果は農業・食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術研究支援センターが実施する「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業(うち産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)」「革新的技術開発・緊急展開事業(うち経営体強化プロジェクト)」で取り組んだものです。

**経済効果!**  
平均: **15,621円**/10a

可変施肥による減肥のみならず、適切な施肥を実施することによる収量の増加効果を複数の作物で確認。  
(2015年にてんさい、2017年に馬鈴薯で実証)

# 新たな農業支援サービス⑤ 農業支援サービスの広がり

## 機械設備供給型

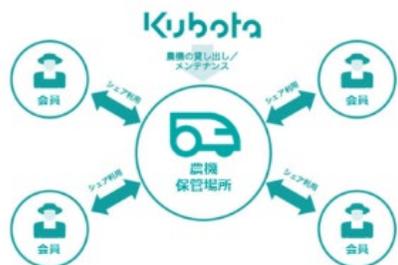
(株) クボタ

### 【概要】

主に新規就農者を対象に、利用登録をした農業者が1時間単位で農業機械をレンタルして使用できるサービス。令和3年4月から開始。

### 【サービス内容】

- 貸出機械は、小型トラクター（21馬力）、中型トラクター（45馬力）、リモコン草刈機、ロータリー、小畝用マルチロータリー等
- 茨城県つくばみらい市、下妻市、京都府亀岡市、滋賀県甲賀市、兵庫県神戸市、大分県竹田市等、全国10拠点でサービスを展開。
- 機械のメンテナンスはクボタが実施。利用者はトラクター等の保管場所から自走、あるいはトラックなどで運搬。
- サービスの利用料金は、
  - ・小型トラクター：2,000円～4,000円程度／1時間
  - ・中型トラクター：5,000円～8,000円程度／1時間
  - ・リモコン草刈機：990円～2,000円程度／1時間
- 利用登録者数は170名



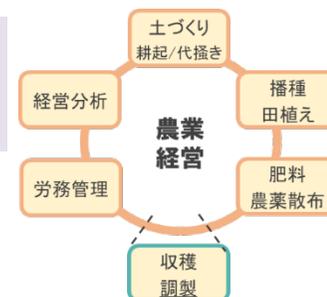
操作説明会の状況

## 機械設備供給型

inaho (株)

### 【概要】

自社で開発した自動収穫ロボットのレンタルサービス事業を展開。平成29年1月設立。



### 【サービス内容】

- 大規模な農業法人（目安は環境制御できる温室ハウスが1ha以上）向けにトマト収穫ロボットや作業者の作業スピードを引き上げるマルチ台車ロボットを1年単位でレンタルするサービスを実施。
- 収穫ロボットが夜間も稼働することで全体の作業量の6割をカバーし、マルチ台車ロボットを利用により人の作業時間が約半分になることで、作業時間が従前の20%ほどになる。
- 機械のメンテナンス等はinahoが実施。



農業法人は初期投資が不要となるメリット



トマト収穫ロボットによる収穫の様子



マルチ台車ロボット

## 人材供給型

## (株)アルプスアグリキャリア

### 【概要】

アルプス技研グループにおけるアグリ事業に特化した会社として設立。農業の専門的な知識を持ち、スマート農業機械も扱える人材を育成し、農業分野への技術者派遣サービスを展開。



技術人材と農業ロボットを組み合わせたソリューションサービスを提供

### 【サービス内容】

- 大型トラクタ操縦技術を有するオペレーターの派遣、センシングによるデータ収集・生産管理、土壌分析改良等、スマート農業技術を持つアグリテック人材（農業技術者）や、栽培関連業務等を行う就農人材（農業技能者）の派遣サービスを提供。
- アルプス技研グループで培った人材育成ノウハウにより、外国人材であっても質の高いサービスの提供が可能な人材として育成。
- R元年度のスマート農業実証プロジェクトでは、JA西三河きゅうり部会生産者（愛知県）による実証へアグリテック人材を派遣し、環境制御システムで取得したデータを活用した作業等を実施し、単収の向上、労働時間削減等を達成。
- R5年7月現在、約200名のアグリテック人材が在籍（内7割は外国人材）。その他特定技能1号の外国人材も約150名在籍（日本語能力、N3以上）。



野菜の品種開発における研究実証を行っている様子

## 人材供給型

## YUIME (株)

### 【概要】

沖縄でのサトウキビ短期派遣を契機に、産地間連携により全国的に農業人材を確保するサービスを展開。OJTによるスタッフ育成も組み込んだチーム編成により、質の高い人材派遣サービスを展開。



収穫や選果などの作業を受託

### 【サービス内容】

- 産地の繁忙期を中心に労働力人材を派遣するサービスを提供。外国人材も活用しながら全国の産地に人材を派遣。稲作から他の作物へ転換をはじめ、幅広い農業技術を蓄積しており、多種多様な作物の播種～収穫までの作業を実施可能。
- サービス提供料金は当該地域の日本人材派遣単価をベースに決定。
- 令和4年5月に富山県における農業支援サービスの利用拡大と県内サービス事業者の育成を目的に、県内15JA、県JA中央会、全農県本部、農林中央金庫、サービス事業者（YUIME(株)）を構成員として「富山県農業支援サービス活用協議会」を設立し、タマネギ、キャベツ、トマトなどの生産について、県内での利活用の拡大に向けた実証を開始。
- R4年7月現在、特定技能1号の在留資格を持つ外国人材が270人在籍。
- ドローン等のスマート農業機械を扱える人材の派遣についても今後開始予定。



水田から転換したたまねぎほ場における作業実証の様子

# 新たな農業支援サービス⑦ 推進に向けた情報提供（施策パンフレットの作成）

## 1. 新たな農業支援サービス

- 農業の担い手不足が深刻化する中、農機のリース・シェアリング、ドローンによる防除の代行、データを駆使したコンサルティング等、農業者をサポートするサービス（農業支援サービス）が登場。
- 新たな食料・農業・農村基本計画に即し、農林水産省では、関係省庁と連携し、農業支援サービスの育成・創出を推進。

## 2. 関連施策を見える化

- 経済産業省と連携し、農業支援サービスに取り組む事業者を対象に、活用できる主な施策（出融資、保証制度、税制、補助金等）をとりまとめ、パンフレットとして作成・公表（以下リンク先からご覧いただけます）。

（農林水産省ホームページ：

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/smart/nougyousien.html> )

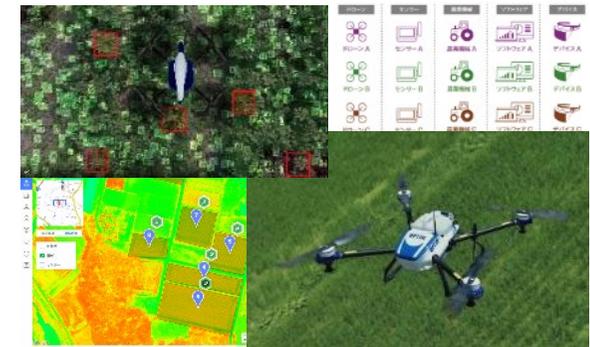
（農業支援サービスの例）



▲ドローンによる防除の代行  
(JA鹿児島県経済連)



▲夜間に収穫を実施する収穫ロボットの貸出  
(inaho(株))

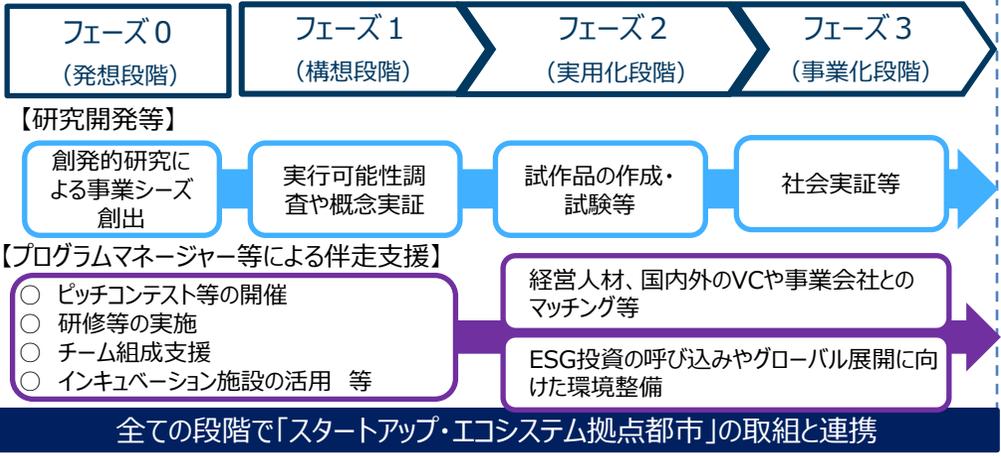


▲AI病害虫診断とピンポイント防除の複合サービス  
(株)オプティム)

# 農業支援サービス事業の育成（多角的支援の具体的内容）

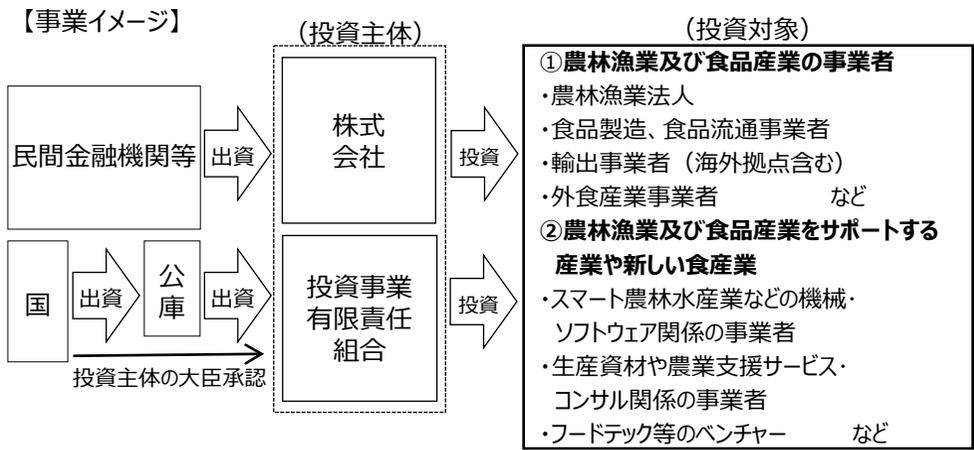
## スタートアップへの総合的支援

新たな日本版SBIR制度を活用し、新たな技術・サービスの事業化を目指すスタートアップが行う研究開発やベンチャーキャピタル等による伴走支援など、起業に必要な取組を切れ目なく支援。



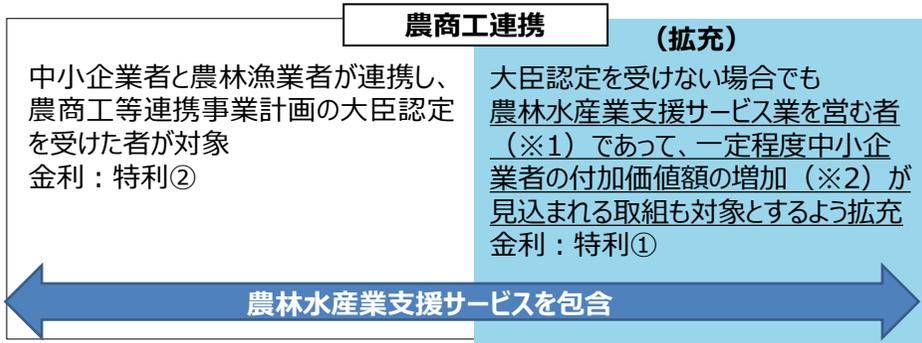
## 農林漁業法人等投資育成事業

農林漁業法人等投資円滑化法に基づき、農林漁業・食品産業に寄与する新たな取り組みにチャレンジするスタートアップ等の事業者への資金供給を促進



## 日本政策金融公庫における融資面からの支援

融資面から農林水産業支援サービスを支援するため、日本政策金融公庫における、農商工連携の枠組みを活用した融資制度を拡充



（※1）産業用機械器具賃貸業、労働者派遣業及び情報処理・提供サービス業の3業種を対象とした  
（※2）3年間で2%の付加価値額の増加とした（大臣認定の場合は、3年間で3%）

## 農業支援サービス事業の立ち上げ支援

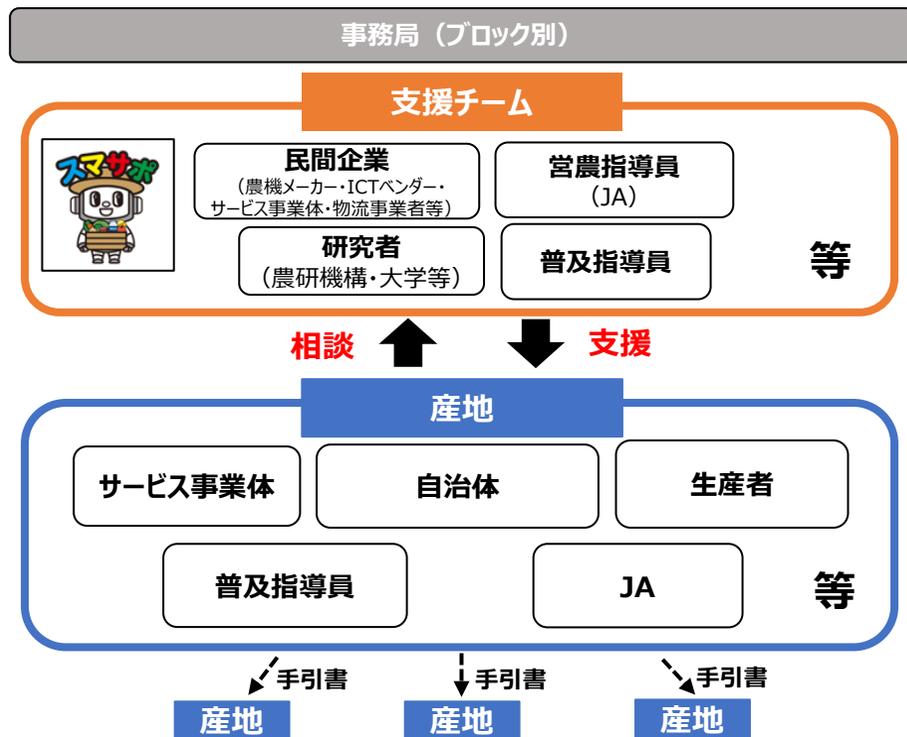
ドローン等による作業受託や農業機械のレンタル、センシング・データ分析等の新たなサービスを提供する農業支援サービス事業の立ち上げ等を支援

- 農業支援サービス事業の新規事業立ち上げ当初のニーズ調査や人材育成（研修経費）等を支援（上限1,500万円）  
〔農業支援サービス事業緊急拡大支援対策（R5補正）〕  
〔農業支援サービス事業育成対策（R6継続）〕
- 農業支援サービスの提供に必要なスマート農業機械等のリース導入・取得等を支援（補助率 1/2以内等）  
〔農業支援サービス事業緊急拡大支援対策（R5補正）〕  
〔強い農業づくり総合支援交付金のうち農業支援サービス事業支援タイプ（R6継続）〕  
等

# スマートサポートチームによる産地サポート

- 実証プロジェクトに参加して技術・ノウハウを培ったメンバーの中でも、スマート農業技術の普及・実装に積極的に取り組む民間企業、営農指導員、研究者、自治体の普及員等が「スマートサポートチーム（通称：スマサポ）」として活動。
- 令和4年度より、スマート農業技術活用産地支援事業を活用し、スマサポのメンバーを中心とした支援チームが、新技術を積極的に取り入れる他産地への実地指導に取り組む。今後、これらの産地での指導結果に基づいて手引書を作成し、指導人材を育成しつつ、スマート農業技術やデータ活用を推進。

## スマート農業技術活用産地支援事業イメージ



## 事業における取組一覧（上段：R5年度採択、下段：R4年度採択）

	支援チームの代表機関	支援を受ける産地	品目
①	ウォーターセル（株）	北海道	バレイショ、水稻等
②	（株）誠和	埼玉県	イチゴ
③	（株）鈴生	静岡県	レタス、ブロッコリー等
④	（株）レグミン	兵庫県	麦類、タマネギ等
⑤	（株）つじ農園	三重県	水稻、麦
⑥	（一財）浅間リサーチ エクステンションセンター	鳥取県	水稻
⑦	テラスマイル（株）	岡山県	ブドウ
⑧		熊本県	イチゴ
①	（株）スマートリンク北海道	北海道	水稻、小麦等
②	テラスマイル（株）	岩手県	ピーマン
③		富山県	タマネギ、業務用米
④		三重県	茶
⑤	（株）日本能率協会コンサルティング	群馬県	イチゴ
⑥		鹿児島県	キャベツ
⑦	（株）スカイマティクス	千葉県	水稻
⑧	農研機構 北海道農業研究センター	北海道	飼料作物
⑨	石川県農林総合研究センター	石川県	水稻、大豆、麦
⑩	大阪公立大学	三重県	トマト
⑪	（一財）浅間リサーチ エクステンションセンター	宮崎県	かんしょ

### 食料安全保障強化政策大綱

（令和4年12月27日 食料安定供給・農林水産業基盤本部決定）

#### IV.1 スマート農林水産業等による成長産業化

－スマート農林水産業の展開と、スマート農林水産業の実装に向けたサポート体制の強化（農業分野におけるスマートサポートチーム・拠点の創設、林業・水産業分野におけるデジタル戦略拠点の創設、ICTを活用した水産業のスマート化等）